

Case Study

JULABO ED-39 and FT402

Case Study
03-2007
Page 1 from 1

最低到達温度の確認

ED-39ヒータリングサーキュレーターに

FT402イマージョンクーラーを装着し最低到達温度を確認



目的

ED-39ヒータリングサーキュレーターにFT402イマージョンクーラーを装着し最低到達温度を確認する

セットアップ

ED-39ヒータリングサーキュレーター（充填量：39リットル）に槽液（サマルG）を充填します。
FT402イマージョンクーラーは冷却装置として使用され、その冷却プローブは槽の左側に浸漬されます。
槽内の温度は、ラップトップに接続されたLC6ラボコントローラーで記録されます。

実験条件

機器

ED-39ヒータリングサーキュレーター
FT402イマージョンクーラー

電源/周波数

230V / 50Hz

周囲温度

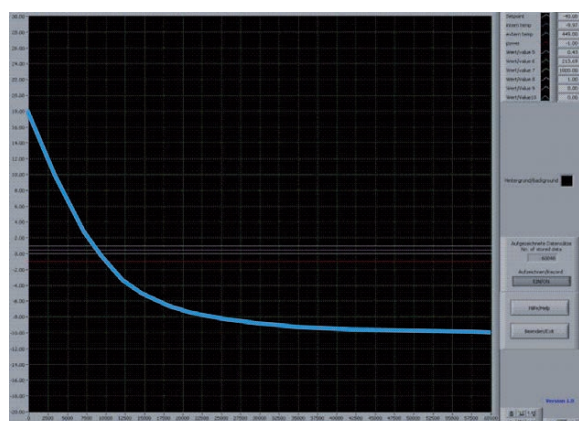
20°C (室温)

槽液

サマルG

結果

左記の条件で槽内温度が-9.9°Cまで下がることを確認した



冷却カーブ



冷却装置FT402イマージョンクーラー
ED-39ヒータリングサーキュレーター
LC6ラボコントローラー



冷却プローブを
ED-39ヒータリング
サーキュレーターに装着

ユラボジャパン株式会社
大阪府和泉市テクノステージ1-3-17
Tel : 0725-51-3401 Fax : 0725-51-3411
info@julabo-japan.co.jp

www.julabo-japan.co.jp

Julabo
THE TEMPERATURE CONTROL COMPANY